

旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）への 市民意見募集の実施結果について

1 実施概要

募集期間	平成 29 年 12 月 20 日（水）から平成 30 年 1 月 19 日（金）まで
意見の応募方法	ハガキ、F A X、電子メール、ホームページ投稿フォーム
主な周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市民情報センター/各区役所/各区土木事務所/各区 P R ボックス（図書館、地区センター、行政サービスコーナー、区民文化センター、鉄道駅）などで市民意見募集用リーフレットを配架 ・広報よこはま、ホームページ、twitter による広報 ・説明会の実施（2 回）

2 実施結果

4 3 1 名の方から、ご意見をいただきました。

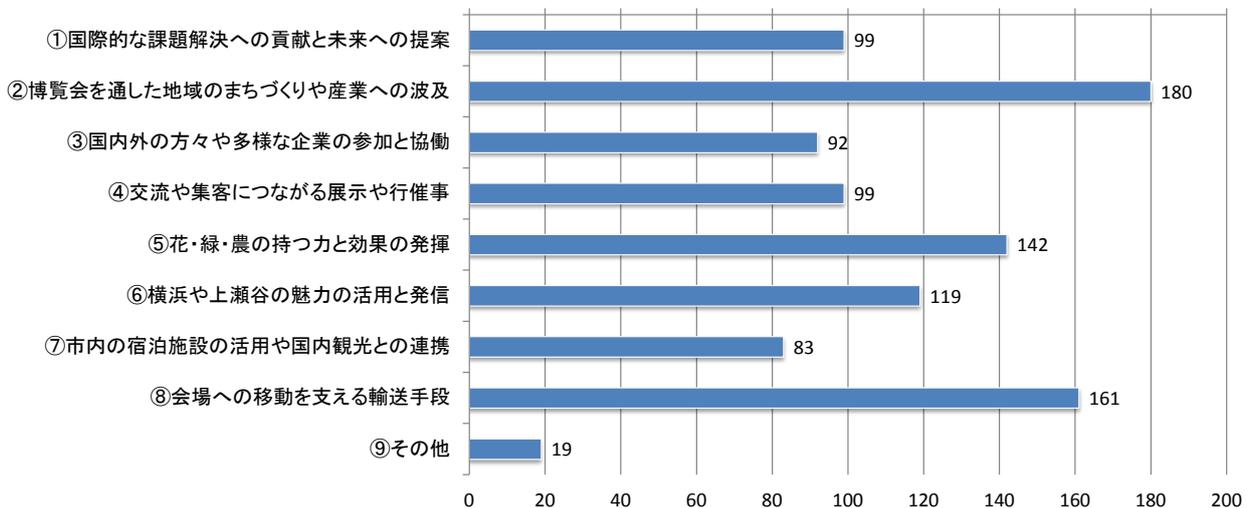
参考) 応募方法内訳

リーフレット 付属ハガキ	ホームページ 投稿フォーム	電子メール	F A X	その他
162 名	65 名	8 名	0 名	196 名

■「旧上瀬谷通信施設への国際園芸博覧会招致を検討するうえで、重要だと思う項目」について

項目に選択をされた方は、2 3 4 名でした。「博覧会を通じた地域のまちづくりや産業への波及」が 1 8 0 件と最も多く、次に「会場への移動を支える輸送手段」が 1 6 1 件でした。

招致を検討するうえで、重要だと思う項目（複数選択可）



■「具体的なお意見」について

具体的なお意見を記入された方は、3 4 5 名で、意見数は 2 4 8 件でした。いただいたご意見については、次の 4 つの分類に分けて、市の考え方を示しています。

意見数 2 4 8 件		
分類及び意見数	分類 1) 基本理念・開催意義について	6 7 件
	分類 2) 展開の考え方、会場構成について	6 2 件
	分類 3) 宿泊・輸送計画について	5 7 件
	分類 4) その他	6 2 件

いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

※いただいたご意見については、基本的に原文のまま掲載していますが、公表にあたり、一部表現等を編集させていただいております。御了承ください。

分類1) 基本理念・開催意義について

NO.	ご意見	本市の考え方
1	横浜市郊外エリアの活性化につながる施策として重要だと思います	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
2	70年にわたる米軍による接収により地域の発展が、大きく遅れたのを挽回する契機とすべきイベントです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、検討の参考にさせていただきます。
3	地域の発展・横浜の発展の為に、物流拠点の整備が最も有効使用と考えられ、一番に挙げられます。すでに事業者の提案もあり、優先して事業化を行うべきです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素を進めていくものとしています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
4	催し物をするのであれば、開催後も地元住民が具体的な形で恩恵を受け得る催し物とすること。旭区の里山ガーデンの二の舞を踏む必要はないのではないですか？瀬谷の森も海軍道路の桜も一般の市民の密やかな日々の楽しみです。某種苗会社に税金をベースにしたビジネスを渡すのであれば、その恩恵が地元住民にどのように具体的かつ長期にわたって帰ってくるのか、明確にすべきです。国際イベントと強調なさりたいようですが、今時の海外からの旅行者は作り物のイベントを理由にリピータになったりはしませんよ。皆さんもずっと旅慣れて、付け焼刃の見世物のつまらなさぐらいは十分にご存知です。それよりも、地元の住民にとって価値のあるものに、海外からのみなさんは反応するのです。そのくらはプロならご存じなのではないですか？大体、大都市横浜がなぜ今更国際化ですか？市立小学校に様々なバックグラウンドを持った子供たちがふえていることぐらい把握なさっているでしょう？	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
5	次世代の公園の在り方を打ち出すことが重要	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素を進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーと継承発展するために、主に都市公園とすることと考えています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
6	博覧会によるインフラ整備とその後の新しい街づくりに興味があります。日本には世界に誇れるコンテンツが多数あります。博覧会とその後の新しい街づくりでは、それらコンテンツを活用し、国内外から多くの人が訪れる街づくりの実現をお願いしたい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
7	SDGsの理念を具体的に市民に理解してもらえる先進的な取り組みを示してほしい。世界的な飢餓問題に対する解決策となる技術も示して植物の生産量の多い日本の好立地を紹介し、品質の高い農産物の輸出にも貢献できるような情報発信もしてほしい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P7~12に記載の「開催意義」において、国際的な開催意義として、パリ協定開始年の2020年と「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標年2030年のほぼ中間の期間に位置する2026年に自然を扱う国際園芸博覧会を開催することで、飢餓・水・衛生、持続可能な都市、気候変動、陸上資源などの課題解決に向けた具体的な取組を世界に向けて発信・共有することを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
8	通信施設の跡地開発は、横浜東部MM21に対して横浜西部の上瀬谷が農(安心は食)と自然の中で憩う(大都市に隣接した)街として誕生するチャンスにあると思っています。その時に花博が招致され、農の上瀬谷として永続的な基盤創りが緑の一環として花博の計画に組み入れられることを願っています。瀬谷の名産である「朝取りトモロコシ」と摘み取らせたり、消費者が直接野菜や果物が収穫できる農業パークを街創りの専門家を招致してでも、今後耕作を続ける意思のない地権者の土地を集約してできないかと考えています。東名横浜町田インターを出たところにある自然いっぱい空間で夜を仲間と集い、夜明けとともに収穫をして、パーベキューコーナーで新鮮な野菜を味わい、ウオーキングやスポーツ、ズーラシアで遊んで、MM21・中華街に寄って帰る。グランピングやパーベキューコーナーを創り、公園のサイドにはレストランや瀬谷野菜の直売所・惣菜販売もステキです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素を進めていくものとしています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
9	米軍施設跡地を有効活用する方法として、花博の開催は横浜市のみでなく、日本経済に与える効果も、大きいものがあると思います。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P33~34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる日本への効果として、国際社会における環境技術や生命産業分野等での日本のイニシアチブ向上による新たな経済関係への発展や新たな公民連携手法が示され全国に広まることによる、産業創生等の経済活性化の推進を掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
10	東京大都市圏での初の国際園芸博覧会の開催、大変素晴らしいことだと大いに期待しています。また、メインテーマの「ハッピーネス」や「風景」はとても素敵なキーワードだと思います。ただ、背景の写真が今一つこのテーマにそぐわないように思えます。もう少し夢のある美しいイメージを表現していただけたら良いとおもいます。	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
11	大阪、浜松に続き、ここ横浜での国際園芸博覧会の誘致及び開催を待ち望んでいます。多様な人々と企業を巻き込むために、現在のメインテーマを更に分かりやすい表現にしては如何でしょうか。	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
12	跡地について、昭和記念公園のような国営公園にしてください。期待しています。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素を進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーと継承発展するために、主に都市公園とすることと考えています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。

13	<p>自然災害、異常気象、飢餓、地球環境への対応は人類の共通目標だ。・・・以下理念に賛成である。だが、それが国際園芸博覧会を招致することと繋がらないと思う。博覧会は一過性だからだ。</p> <p>まず、未来の子供たちが幸せに生きていけるように、持続可能な社会づくりを念頭に置かなければならないと考える。</p> <p>持続可能であるためには、生命の循環に最も大切な要因を考えることだ。空気、水、土、食料、生物多様性、広場（保育教育、避難場所）、ライフラインは無くしてはならないものだ。</p> <p>空気、水、土を浄化涵養する森を再生させる。国有地市有地を市民と共同で植林し森の再生を図る。</p> <p>農地を確保し食料自給率を下げない。農家の方には畑作を継続していただく。上瀬谷の田んぼは年々畑地になり減少してきている。田んぼは水をためるのでより生物多様性が図られるので、田んぼを再生し、市民が楽しんで米作りをする場所にする。子供たちの学習にも役立つはずだ。また森周辺は市民農園として市民に貸し出し、楽しんで園芸に励んでもらう。</p> <p>コンクリートで固められた空間からは生き物は生まれない。空気や水、土、植物が生き物を育ててくれる。生き物の一員である人は、たくさんの生き物がいるからこそ生きながらえることができるからだ。</p> <p>小さな公園では、子どもたちは迷惑だとボール遊びや風揚げなどが禁止されていて、はつらつと遊ぶことができない。車が入ってこない広々とした場所で、のびのびと遊んでほしい。また災害時には避難できる広場が必要だ。今ある原っぱを確保し、災害時には水道、かまど、トイレが使用できる設備を整える。</p> <p>人口減少の時代、これ以上開発する必要はない。今ある設備をメンテナンスして、次の世代に引き継ぐ。橋、トンネル、道路、川、ライフラインなどの保全にお金や技術を使いたい。</p> <p>このように上瀬谷通信施設跡地に緑が再生されたなら、未来に持続可能な拠点として、国際的にアピールできると思う。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。</p> <p>P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素を進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーとして継承発展するために、主要区域を都市公園とすることと考えています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
14	<p>国際的な課題の解決にこの博覧会がどのように貢献できるのか知りたい。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P7～12に記載の「開催意義」において、国際的な開催意義として、パリ協定開始年の2020年と「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標年2030年のほぼ中間の期間に位置する2026年に自然を扱う国際園芸博覧会を開催することで、飢餓、水・衛生、持続可能な都市、気候変動、陸上資源などの課題解決に向けて具体的な取組を世界に向けて発信・共有することを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
15	<p>身近な農を見直し、地産地消を進める契機になるといいと思います。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P33～34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷の効果として、新しいスマート農業の展開や新産業が興ることで国内外の企業進出が期待されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
16	<p>博覧会后、この広大な敷地はどうなるのでしょうか？</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。</p> <p>P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素を進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーとして継承発展するために、主要区域を都市公園とすることと考えています。</p>
17	<p>素晴らしいテーマですけれど難しいと思います</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。</p>
18	<p>イベントをやることを目的にしないで頂きたい。イベント終了後の活用も含めて、市民が誇れる場所として残る形にして頂きたい。ただのスクラップ&ビルドのイベントはやめていただきたい。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
19	<p>横浜市で花博を、というのは大変前向きで花・緑に力を入れる都市としては良い事だと思います。</p> <p>テーマ・サブテーマで風景という言葉を入れているのはとても新鮮に感じました。それと同時に多少のわかりづらさもあり、より良いものになるとなることを期待しております。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。</p>
20	<p>国際園芸博覧会の開催をとても期待しています。メインテーマは素晴らしいと感じました。また、多くの方々に共感いただければと思った次第です。そのため、この部分がもう少しわかりやすい表現になれば良いと思います。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。</p>
21	<p>今の公園はどちらかというと色とりどりの花がたくさん感じですが、今ヨーロッパなどでは主流の土地に無理のない植物を使ったナチュラルな庭、あるとほっとする景色に溶け込むようなやすらぎをあたえる空間を作って頂きたいです。緑に力を入れている横浜だから提案できるこれからの先を見据えた植物空間を作って欲しいです。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。</p> <p>P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素を進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーとして継承発展するために、主に都市公園とします。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
22	<p>北部方面地域の活性化を図る</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
23	<p>上瀬谷の未来を考えた土地利用につながる博覧会にしてほしい。20年、30年後もまちづくりに活かされるように。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
24	<p>瀬谷の地名をPRするのが望ましい。市内の方でも瀬谷区を知らない人が多く見られるのは寂しいです。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P33～34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷への効果として、知名度が国内外で向上し、旧上瀬谷通信施設の基盤整備とあいまって、都市農業の振興、産業振興、賑わいや交流が促進され、郊外部の活性化拠点形成が促進されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
25	<p>博覧会も重要ですが、会期は6ヶ月なので、将来にわたって残る地域のまちづくりに力を入れてください。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
26	<p>上瀬谷の良い所と宣伝に発信</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P33～34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷への効果として、知名度が国内外で向上し、旧上瀬谷通信施設の基盤整備とあいまって、都市農業の振興、産業振興、賑わいや交流が促進され、郊外部の活性化拠点形成が促進されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>

27	上瀬谷は、私にとって思い出深い、大事な場所です。国際花博の開催は、緑豊かな上瀬谷地区にとってもマッチしており、瀬谷の発展に貢献するだけでなく、SDGsの様な世界的な課題解決に向けた提案ができれば、横浜、ひいては日本の将来にとって間違いなく大変重要なイベントになると思います。ぜひ招致に向け努力いただき、成功させていただきたいと思っております。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P7~12に記載の「開催意義」において、国際的な開催意義として、パリ協定開始年の2020年と「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標年2030年のほぼ中間の期間に位置する2026年に自然を扱う国際園芸博覧会を開催することで、飢餓・水・衛生、持続可能な都市、気候変動、陸上資源などの課題解決に向けた具体的な取組を世界に向けて発信・共有することを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
28	開催後の利用計画	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
29	花とみどりの持つ力で、高齢者、障害者を含め、全ての人が癒される、楽しめる博覧会を望みます。そのために交通インフラの整備と地域の農業および商業振興が不可欠だと思います。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P7~12に記載の「開催意義」において、花と緑の領域は環境教育分野、医療分野、健康産業、福祉分野等へ広がっており、今後迎える超高齢化社会や第4次・第5次産業革命の進展に伴う様々なストレス関連疾患への対策に、花と緑の貢献が期待されることを掲げています。また、P33~34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷の効果として、新しいスマート農業の展開や新産業が興ることで国内外の企業進出が期待されることを掲げています。交通インフラについては、将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署で共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
30	花と緑を生かして地球環境の改善に寄与できる様に。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P7~12に記載の「開催意義」において、花と緑の領域は環境教育分野、医療分野、健康産業、福祉分野等へ広がっており、今後迎える超高齢化社会や第4次・第5次産業革命の進展に伴う様々なストレス関連疾患への対策に、花と緑の貢献が期待されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
31	単なる「花博」ではなく、横浜や上瀬谷の振興に繋がる博覧会を企画してほしい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
32	花と緑にあふれる大規模公園の整備を是非お願いしたい。地元瀬谷としては期待しています。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーと継承発展するために、主に都市公園とすることと考えています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
33	地域の園芸・農の産業や文化へつながるものになると良いです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P33~34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷の効果として、新しいスマート農業の展開や新産業が興ることで国内外の企業進出が期待されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
34	横浜市の知名度は高いが、瀬谷の知名度はとても低い。この花博をきっかけに、瀬谷区の知名度を上げ、国内の方はもちろん、海外の方にも魅力を伝えることが出来れば良いと思う。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P33~34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷への効果として、知名度が国内外で向上し、旧上瀬谷通信施設の基盤整備とあいまって、都市農業の振興、産業振興、賑わいや交流が促進され、郊外部の活性化拠点形成が促進されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
35	長年米軍基地として使用されてきた「上瀬谷」の地が平和のシンボル「花」の祭典に活用されることを期待している。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P33~34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷への効果として、知名度が国内外で向上し、旧上瀬谷通信施設の基盤整備とあいまって、都市農業の振興、産業振興、賑わいや交流が促進され、郊外部の活性化拠点形成の促進を掲げています。また、P11に記載の「上瀬谷での開催意義」において、上瀬谷の花と緑は、園芸博覧会の本質である生きものや生命への敬意とあいまって、友好平和の力強いメッセージの発信となるものとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
36	博覧会後の場所を大型自然公園とすることをめざした博覧会基本構想	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーと継承発展するために、主に都市公園とすることと考えています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
37	メインテーマが良く、大いに期待している。国際園芸博覧会が、さらに良く開催地として招致されるように、事務局で工夫して欲しい。サブテーマがあるとより分かりやすいので検討して欲しい。	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
38	海軍道路西側大門川迄市街化とし商店ウォーキングコース等、花博後も人を呼び込める地区にしたい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。

39	花博後も国県の公園として残して市民が行きやすい	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。 P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーと継承発展するために、主に都市公園とすることと考えています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
40	全国都市緑化よこはまフェア一観覧しました。広範囲にきれいな草、花のすばらしさに感動させられた。2026年国際花博開催に大賛成です。横浜郊外の広大な場所を有効に活かし、多くの人々を観光誘致に結びつけ、地域の発展や経済の活性化を計り、増々港よこはま（市）の繁栄、発展に結びつける。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P33～34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷への効果として、知名度が国内外で向上し、旧上瀬谷通信施設の基盤整備とあいまって、都市農業の振興、産業振興、賑わいや交流が促進され、郊外部の活性化拠点形成が促進されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
41	瀬谷区上瀬谷地区の今後のまちづくりにつながる企画。開催となるよう努めて欲しい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
42	都市型農業の利点である地産地消や農業体験などの農業振興を図ることで博覧会後も魅力的な土地活用ができるようにする事が重要だと思う。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P33～34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷の効果として、新しいスマート農業の展開や新産業が興ることで国内外の企業進出が期待されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
43	メインテーマ、基本理念等、あまりに抽象的であり、ピンときません。Y150の失敗を繰り返さないことを祈るばかりです。	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
44	地域のまちづくりや産業へしっかり効果を波及させ、公費の投入をただのイベント開催費に終わらせないでほしい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P33～34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷の効果として、新しいスマート農業の展開や新産業が興ることで国内外の企業進出が期待されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
45	園芸博が終わってからも、花・緑・農の力を利用した土地利用をしてほしい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。 P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
46	瀬谷区フェスティバル実施国有地（8ha）に大規模「道の駅」を作ること（災害時は拠点地区となる）	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。 P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
47	オリンピック開催間近の現代、我が横浜の立場はSDGs（国連の目標）を率先して実施する必要があります。そのための企画を実行されてはいかがでしょうか。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P7～12に記載の「開催意義」において、国際的な開催意義として、パリ協定開始年の2020年と「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標年2030年のほぼ中間の期間に位置する2026年に自然を扱う国際園芸博覧会を開催することで、飢餓、水・衛生、持続可能な都市、気候変動、陸上資源などの課題解決に向けた具体的な取組を世界に向けて発信・共有することを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
48	横浜市の西部地区開発には是非実施していく必要がある。広大な土地の有効利用が望ましい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
49	国際園芸博覧会が開催されることにより、瀬谷～横浜が益々活性化することを望みます。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
50	テーマの日本語をわかりやすい表現に	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
51	メインテーマにセンスを感じられない。再考して欲しい。	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
52	基本理念とのつながりがわかりにくいので、メインテーマを見直すべきではないでしょうか。	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
53	メインテーマがわかりにくいです。文字だけみると少し葬祭場のキャッチコピーのような感じがします。きっと緑化フェアのような素敵な花がたくさん見られるのだと思いますので、そういうイメージの言葉が良いです。楽しみにしています！！	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
54	開催期間終了後も地域の活性化が期待できる取組みを実施して下さい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
55	一過性のイベントでなく今後の街づくりにつながるようにすべき	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
56	博覧会を通して花、緑、農の魅力を世界にアピールして欲しい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P7～12に記載の「開催意義」において、花と緑の領域は環境教育分野、医療分野、健康産業、福祉分野等へ広がっており、今後迎える超高齢化社会や第4次・第5次産業革命の進展に伴う様々なストレス関連疾患への対策に、花と緑の貢献が期待されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。

57	世界的な環境問題の解決 人口減少社会への処方箋 持続可能な平和と幸せな生活 これらの目標に夢と希望を！	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P7～12に記載の「開催意義」において、国際的な開催意義として、パリ協定開始年の2020年と「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標年2030年のほぼ中間の期間に位置する2026年に自然を扱う国際園芸博覧会を開催することで、飢餓・水・衛生、持続可能な都市、気候変動、陸上資源などの課題解決に向けた具体的な取組を世界に向けて発信・共有することを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
58	人と自然の真に豊かな関係を深く考えさせるような博覧会にしてください。 具体的には、横浜生まれのコンセプトである「花鳥風月のまちづくり」（森清和）のほか、自然農法（福岡正信、木村秋則）や里山・里海資本主義（瀬谷浩介）なども踏まえた、21世紀に相応しいメッセージ・問いかけを発信してもらいたい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P7～12に記載の「開催意義」において、国際的な開催意義として、パリ協定開始年の2020年と「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標年2030年のほぼ中間の期間に位置する2026年に自然を扱う国際園芸博覧会を開催することで、飢餓・水・衛生、持続可能な都市、気候変動、陸上資源などの課題解決に向けた具体的な取組を世界に向けて発信・共有することを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
59	上瀬谷通信隊跡地に花博ぜひやってほしいです。 私が育ったのは泉区（当時戸塚区）の深谷通信所（通信隊）のそばでした。テレビの電波が悪くて苦労しました。幼稚園生にして治外法権という言葉覚えしました。また、高校が上瀬谷通信隊のそばで、通信隊から通信隊に通学していた関係で通信隊が印象に残っています（部活のランニングでよく通信隊の中を走りました）。米軍施設があることで治安の悪化や交通不便、地域の発展の妨げなど様々な問題があり、周辺の住民は大変苦労しました。そのつらさから、今でも沖縄の人達の苦しみが痛く感じています。 通信隊が返還されて緑区に住んでいますが大変うれしく感じています。 その旧上瀬谷通信施設で国際花博を招致すると知り、お便りさせていただきました。 旧日本海軍、米海軍と軍事で使われていた施設が、花という平和の象徴の国際博覧会が開かれたら、すばらしいと思います。戦争から平和へのアピールを世界に向けてできるのではないのでしょうか。今、沖縄では普天間の問題で問題になっています。返還されるとこんな素晴らしいことがあることを沖縄だけでなく、全国の人達に知ってもらえます。ぜひ、市民が一丸となって招致してください。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P33～34に記載の「波及効果」において、旧上瀬谷通信施設で国際園芸博覧会を開催することによる横浜・上瀬谷への効果として、知名度が国内外で向上し、旧上瀬谷通信施設の基盤整備とあいまって、都市農業の振興、産業振興、賑わいや交流が促進され、郊外部の活性化拠点形成の促進を掲げています。また、P11に記載の「上瀬谷での開催意義」において、上瀬谷の花と緑は、園芸博覧会の本質である生きものや生命への敬意とあいまって、友好平和の力強いメッセージの発信となるとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
60	国際社会の場で地球環境が問題にされるようになってから、すでに約30年経ちましたが、各国・地域の歴史的背景、生活水準の格差、産業構造などにより、地球環境問題の取り組みが十分にはほど遠い現状です。 日本人ですら忘れてきている、「花鳥風月」「山紫水明」という言葉が示すような、四季を通じた自然との共生・文化・伝統を、国際社会に示すことが、持続可能な未来社会につながるものと考えます。 この地域から国際園芸博覧会を通じて発信できることは、大変意義のある、素晴らしいことだと考えます。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P7～12に記載の「開催意義」において、国際的な開催意義として、パリ協定開始年の2020年と「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標年2030年のほぼ中間の期間に位置する2026年に自然を扱う国際園芸博覧会を開催することで、飢餓・水・衛生、持続可能な都市、気候変動、陸上資源などの課題解決に向けた具体的な取組を世界に向けて発信・共有することを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
61	上瀬谷の拠点整備により霊峰富士・丹沢山塊に見守られた横浜市西部の玄関口にふさわしい21世紀型文明開化の水・緑・農のシンボルゾーンが誕生する。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
62	開催時期以前にバックキャスト的アプローチで取り組んだ実践活動の活動手法は終了後の地域づくり「上瀬谷発グラウンドワーク手法」として普及が期待される。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
63	植物は人の心を和ませ、リラックスさせる。緑は七色の虹の光の光線の真中にあり、中立・バランス・調和を大切に暗示がある。植物を育てる農は、成長の楽しみ・見て美しく、食べておいしい、気分転換、達成感、好奇心が湧く。要約すれば、花・緑・農の相乗効果として、人間に心理的効果が最大に顕現される生活環境が創造される。高齢化社会のまちづくり・地域づくりへの効果。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P7～12に記載の「開催意義」において、花と緑の領域は環境教育分野、医療分野、健康産業、福祉分野等へ広がっており、今後迎える超高齢化社会や第4次・第5次産業革命の進展に伴う様々なストレス関連疾患への対策に、花と緑の貢献が期待されることを掲げています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
64	上瀬谷の魅力の活用と発信 広域防災拠点・自然レクリエーション空間・都市型農業の創造	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。 P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
65	“SCENERY”がいまひとつ、ピンと来ません。風景だとLANDSCAPEの方がしっくりきます。英語ネイティブではないので。感覚的なものです。	いただいたご意見を踏まえ、「メインテーマ」の表現を工夫します。
66	都市公園、下水道事業 市民の森と連続したみどりの植栽の多い公園を望みます。 雨水貯留も重要。 地球温暖化の緩和策、適応策	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。 P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。なお、国際園芸博覧会会場については、博覧会のレガシーと継承発展するために、主に都市公園とすることと考えています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。
67	当計画については、従来から米軍施設内で行われてきた農業を継続すべきであることから反対します。 米軍施設内では農地として活用されており、特に瀬谷ウドは名産だと伺っております。これらの特産品の生産環境をより充実させ、市外へアピールすることが、より市のイメージアップには繋がるのではないのでしょうか。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）では、首都圏でも貴重な広大・平坦地である旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、圏域の振興を牽引するとともに、新たな活性化モデルとして全国に発信することを国際園芸博覧会の開催意義のひとつとして掲げています。 P29に記載の「地域整備の方向性」において、国際園芸博覧会会場の跡地を含む旧上瀬谷通信施設の土地利用は、「農業振興」「活力創造」「公共・公益」の3つの要素で進めていくものとしています。いただいたご意見については、関係部署で共有を図るとともに、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関するご意見として、参考にさせていただきます。

分類2) 展開の考え方、会場構成などについて

NO.	ご意見	本市の考え方
1	どの選択肢も計画・開催するからには必須項目であり当然に全て選択してしまっただけで、しかし開催するのであれば昨今増えている「市民参加型の・・・」のようにハードルを下げれば自ずと質も下がるので、参加・出展者はキチンと本業レベルで運営している企業などに絞る事で、レベルの高い博覧会にしないと来場者の満足度も下がる筈。折角足を運んでもパザーや街の催し物程度では終了後の開発も同レベルのモノで終わってしまう傾向が想像出来てしまう。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P17に記載の「基本的な事業構成」において、出展・展示に関する構成内容として、主催者や参加国等による公式出展と市民・NPO、企業、自治体等による企画展示により構成することとし、催事については基本理念や開催テーマを可視化し、博覧会を活性化するための様々な企画催事としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
2	いつまでも「旧上瀬谷通信施設」を使うのではなく、このエリア一帯の総称を公募して新たな名称を付けて国に要望してはどうか。瀬谷区・旭区は平成31年に区制50周年を迎えるので、そのプレ事業として、在住・在学のご子ども達から公募し、未来の街づくりに関心を持ってもらうきっかけづくりにすれば、話題性もあると思います。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなで作る・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見を踏まえ、「事業展開の考え方」や「事業コンセプト」に学校との連携を反映します。
3	重要だと思う項目は、横浜市ひいては日本の環境、温暖化対策、生物多様性。リーフレットの基本理念・開催意義に書かれてあるように「自然共生の叡智を活かし地球環境を展望した」博覧会場とするのであれば、生態系に最大限に配慮したものとすべき。例えば、「豊岡のクワトトリ」や「佐渡のトキ」のように、「神奈川フクロウの森」、「横浜ツバメの寝ぐら(茅場)」、「横浜爬虫類・両生類の森と水の生物多様性の地」などシンボルとなる自然環境が保護された広いゾーンを設け、将来もその環境が自然との共生の地となるようにすべき。日本の在来種や日本文化を基調としたものとすべき。外来種は極力排除すべき。かながわトラストみどり財団、日本自然保護協会、日本野鳥の会など環境団体の意見を早い時期に積極的に聴取し、その意見をとりいれるべき。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P31に記載の「環境共生を目指した地域資源の活用」において、自然との共生やグリーンインフラなどを会場全体に波及させ、先進的なモデルとして実現していくために、生物多様性・生育環境に配慮し、生物多様性の可視化を展開することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
4	催し物をするのであれば、現在その場所を活用している住民を排除するような企画は行わない。昨年の旭区でのイベントでは30年近くも現地で市民農園をしていた人々を追い出し、10年以上美術展を開催していた団体の活動を著しく制限し、現在は各所が閉鎖されて「次の催しへの工事中」ですね。あそこにはたくさんの昆虫や野草があったことはご存知ですか？地元人間が楽しみにしていた四季折々の里山をご確認いただいた上で企画でしたか？なぜ地元住民の楽しみを破壊して、「ショッピングセンターの集客方法論の応用」や「封建的な里山は云々」「欧米のような観光地の開発」など時代錯誤の話を堂々とシンポジウムで発言するようなあまりに昭和な発想のよそ者年配者集団を企画者として招き入れたのか、全くわかりませんが。あのようなことは避けるべきです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P17に記載の「基本的な事業構成」において、出展・展示に関する構成内容として、主催者や参加国等による公式出展と市民・NPO、企業、自治体等による企画展示により構成することとし、催事については基本理念や開催テーマを可視化し、博覧会を活性化するための様々な企画催事としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
5	シェアリングエコノミー等を活用した弾力性のある受け入れ体制が、横浜市の活性化に大きく貢献すると思います。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P15に記載の「事業コンセプト」において、シェアリングを実感し、社会全体に広める博覧会とするために、国内外の市民の参画・連携や技術、工夫のシェアリング(共有・分配)やリンク(交流・参加)するツールや仕組みを導入することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
6	瀬谷の活性化は重要だと思います。ただし、遠方からの人の行き来で古来ある自然環境が荒れたり、ごみが散乱したりすることがないよう願っております。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P31に記載の「環境共生を目指した地域資源の活用」において、自然との共生やグリーンインフラなどを会場全体に波及させ、先進的なモデルとして実現していくために、来場者が自ら環境を意識し、気づきが行動につながる取組を展開することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
7	瀬谷を故郷とする立場として、横浜らしくない上瀬谷の自然資本を最大限に活かし、グリーンインフラを基盤に据えたまちづくりを進めることに賛成します。一方で、現在の事業コンテンツは昭和時代の都市開発モデルから抜け出ておらず、自然共生やSDGs、グリーンインフラといった新たな国際社会の挑戦の本質を反映できていない印象です。上瀬谷地域が過去から現在まで有してきた多様な機能を丁寧に評価し、残すべきものはしっかり保全し、変革する部分は大胆に挑みながら、上瀬谷の貴重な自然循環を活かしたまちづくりを進めることができれば、この分野での横浜市のステータスもさらに向上すると思います。基本構想における基本理念は素晴らしいので、国際園芸博覧会の開催を目的とはせず、上瀬谷の自然との共生に向けた「手段」の位置づけとして検討いただければ幸いです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P22~23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、横浜・上瀬谷の特徴でもある花や緑、農を基調とするグリーンインフラの導入により、行ってみたい風景・また来たく風景を創出し、自然環境と景観形成の具現化に積極的に取り組むこととしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
8	国際園芸博覧会会場予定地内に、瀬谷区で唯一残っている田んぼの風景が有ります。開催予定日は4月~10月との事なので、田植え、生育、実りまでの日本の稲作の環境を海外の人にも見てもらってはいかがでしょうか？開催日までこの環境が残っていればの話ですが！	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P20~21に記載の「位置・規模」において、市民の森などのまとまりのある緑や周辺農地を活用した会場構成することとしています。いただいたご意見を踏まえ、「会場計画・機能構成の考え方」に、上瀬谷の自然や農との連携を反映します。
9	ぜひ横浜市の花である「バラ」をテーマの1つに設定していただきたいです。横浜にまつわるバラとしてはル・ポール・ロマンティック、セント・オブ・ヨコハマ、メサージュ・ドゥ・ヨコハマ、シティー・オブ・ヨコハマ、ローズ・ヨコハマ、はまみらいが挙げられます。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P16に記載の「事業コンテンツ」において、日本・横浜・上瀬谷の魅力や活力を象徴し、多くの人に伝え、気づきを得て、楽しめる内容を考慮し、「花」「緑」「農」「食」「大地」「交流」の6つの要素を事業コンテンツとして設定し、基本理念を具現化しメインテーマを実現することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。

10	<p>「森の再生と水田の維持・活用」</p> <p>旧上瀬谷通信施設内には、井戸からの揚水等でなく自然が供給してくれる水による水田での稲作が現在でも行なわれている谷戸がある。瀬谷区では最後の水田である。この谷戸（大谷戸）をより良く保持・再生・活用するための様々な取り組みを行い、軍施設＝『人を殺すための施設』から『人を生かし、幸せを導く風景』へと変えていくことを通じて、花博を機会に全国、世界にこの取り組みを発信するという案である。</p> <p>1、水田の持つ意味 米は日本人の食料として数千年も前から栽培され日本人の命を繋いできた。特に水稻は連作の障害の無い素晴らしい農法である。このための水を確保するため地域の人びとは協体制度をつくり、まつり等を行いながら地域の和が作られてきた歴史がある。</p> <p>2、水田に供給する水の確保 自然の水を安定して供給するには源流域や流域に森の存在が欠かせない。大谷戸には相沢川が流れているが十分な水量があるとは言えない。この川の源流域は勿論、返還された国有地に樹木を植えることによってこの土地固有の森を再生していく必要がある。旧基地内は相沢川以外にも和泉川、大門川の源流域にもなっている。森からの湧水は川やため池、水路、水田を満たし、そこに多くの生き物が生息できるようになり、豊かな生物相を作ることが出来る。このような環境はヒトにとっても生きやすい環境である。</p> <p>特に「瀬谷市民の森」の西端にある大谷戸の水田・草場は市民の森に生息する猛禽類の貴重な水場・猟場となっている。 また、現在大谷戸にある相沢川の水門や田んぼ周りの水路を工夫することにより、より多くの生物の生息が可能となり、相沢川を通して大谷戸と相模湾・太平洋とを繋ぐことが出来る。</p> <p>3、森の再生…専門家の指導のもと幅広い人々の協力に基づき、計画的に長いスパンで考え遂行する。 推進機関：行政機関（環境省、横浜市環境創造局、農政事務所、区役所）学校、NPO、賛同する民間企業、園芸会社、ボランティア団体、希望する個人で組織する 方法：苗木 保育園児のどんぐり拾い、苗木育 地元造園会社からの買入れ 植林：小学生・中学生・高校生、企業・ボランティアによる植林作業 管理：行政機関・地元造園会社 活用：森の再生による川の水位変化・生物調査等の継続的な計測・調査及びそれらに対する考察を発信し、人々への関心を絶やさないようにする。 森の中の遊びの学校を設ける 間伐材の木材として利用・地産地消 実施資金：環境省等の国家予算、「横浜市みどり税」、企業献金、個人献金を活用</p> <p>4、水田の活用 一般市民・企業に向けて 希望者を募り、一定の面積を貸与し地元農家の指導のもと、初撒きから収穫、食べることまでの体験をしてもらう。適当な時に収穫祭等の行事を入れ参加者の交流を図りながら、農体験を楽しんでもらう。 小学校 現在ある「環境学習農園事業」の活用、あるいはこれに類する「条例」をつくり、より幅広く子どもたちの食育・環境教育の場としていく。</p> <p>5、環境教育の場として 大都市に隣接する森や里地、水田、川は環境教育に関する様々な教材となる場である。環境問題はたくさん都市が作られ、人間が都市に集中していることによって発生してきたと言っても過言ではない。それ故に、大都市横浜は多くの人びとに環境問題について問題提起するのに格好の場所といえる。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなで行く・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見を踏まえ、「事業展開の考え方」や「事業コンセプト」に学校との連携を反映します。また、上瀬谷地区の魅力と地域資源を出来るだけ活用するよう、いただいたご意見を踏まえ、「事業コンテンツ」に上瀬谷の歴史と地域資源を反映します。</p>
11	<p>世界からも注目される斬新さ、先進性を出し、集客につなげて頂きたい。 税金投入をするのだから、その回収（事業性）をしっかり吟味いただきたい。 （負の遺産、負の歴史（大失敗）と後世から言われぬよう</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P15に記載の「事業コンセプト」において、普遍性と先進性を体感し、新たな行動と創造につながる博覧会とするために、普遍性としては、本物・実物の花や緑などの植物の存在感や魅力を中心に生命に関する圧倒的な本物（リアル）の世界を展開することとし、先進性としては、ICTやAI等の最新情報技術を活用することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
12	<p>日本は環境後進国で、ただスクラップ&ビルドを繰り返すだけの国になっている。 今現在の自然や、いまあるものを、最大限生かし、ほんとうに環境先進国から注目される環境配慮面での先進性も打ち出していきたい。（グランピングは、ただ都市の快適性をアウトドアに持ち込んで、自然の中で過ごす「良い側面」だけを体験するだけのたのみのリゾート的な発想なので、自然へのリスペクトはないのでやめた方がよい。）</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P31に記載の「環境共生を旨とした地域資源の活用」において、自然との共生やグリーンインフラなどを会場全体に波及させ、先進的なモデルとして実現していくこととしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
13	<p>交流や集客につながることを考える際、10代・20代の若者にも魅力的な展示・行事も取り入れると良いと思います。</p> <p>そこで、野外フェス（「ロックフェスティバル」）は、どうでしょうか。</p> <p>ステージやスペースは他の利用でもできるでしょうから、安全面も考慮しつつ、日によって、ターゲットとなる世代を変えて、様々なステージを行うことも可能です。</p> <p>「花・緑・農」や「横浜や上瀬谷の魅力」を伝えるためにも、もともと興味が少ないと思われる若者世代にも、遠くからでも来たいと思える行事をしてはどうかと考えての野外フェスの提案です。</p> <p>苗場・ひたち海浜公園・北海道など全国各地で行われている野外フェスは、1日とか泊まりという長時間での参加が大勢の人がしています。ライブやコンサートのような短時間ではなく、合間に他の展示を見たり、食事もすることになると思います。</p> <p>花博のカラーに合う音楽・ミュージシャンに絞ると若者が来ないことになるのは注意しないといけないと思います。</p> <p>周辺とのトラブルもなく上手く行った場合に限りですが、花博期間後も、同様の使い方ができるようにしたいと思います。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P17に記載の「基本的な事業構成」において、出展・展示に関する構成内容として、主催者や参加国等による公式出展と市民・NPO、企業、自治体等による企画展示により構成することとし、催事については基本理念や開催テーマを可視化し、博覧会を活性化するための様々な企画催事としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
14	<p>大阪の花の万博以上に、見所や花畑が多いことを期待します。大阪では万博をやるようなので、盛り上げるためには、目玉になるものが必要だと思います。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P15に記載の「事業コンセプト」において、普遍性と先進性を体感し、新たな行動と創造につながる博覧会とするために、普遍性としては、本物・実物の花や緑などの植物の存在感や魅力を中心に生命に関する圧倒的な本物（リアル）の世界を展開することとし、先進性としては、ICTやAI等の最新情報技術を活用することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
15	<p>在住者と地方の若人との交流</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P15に記載の「事業コンセプト」において、シェアとリンクを実感し、社会全体に広める博覧会とするために、国内外の市民の参画・連携や技術、工夫のシェアリング（共有・分配）やリンク（交流・参加）するツールや仕組みを導入することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>

16	横浜市への協力と情報の発信	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、時間軸を国際園芸博覧会の開催前の準備プロセスから開催後の展開までと大きくとらえることとしています。市民の皆様への周知につきましては、継続して取り組んでいきます。
17	地球温暖化防止の観点から、博覧会の施設整備に当たっては、炭素固定に資する木材とりわけ国産材の利用を積極的に進めて頂きたい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P31に記載のとおり、事業構成においては「環境共生を目指した地域資源の活用」することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
18	一大イベントである花博の開催意義を市民に十分周知する必要がある。興味の無い人が多い。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、時間軸を国際園芸博覧会の開催前の準備プロセスから開催後の展開までと大きくとらえることとしています。市民の皆様への周知につきましては、継続して取り組んでいきます。
19	食事の考え方が不明だが横浜色を考えて欲しい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P16に記載の「事業コンテンツ」において、日本・横浜・上瀬谷の魅力や活力を象徴し、多くの人に伝え、気づきを得て、楽しめる内容を考慮し、「花」「緑」「農」「食」「大地」「交流」の6つの要素を事業コンテンツとして設定し、基本理念を具現化しメインテーマを実現することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
20	国策である食に関することも大きなテーマにしてはいかがでしょうか？	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P16に記載の「事業コンテンツ」において、日本・横浜・上瀬谷の魅力や活力を象徴し、多くの人に伝え、気づきを得て、楽しめる内容を考慮し、「花」「緑」「農」「食」「大地」「交流」の6つの要素を事業コンテンツとして設定し、基本理念を具現化しメインテーマを実現することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
21	横浜(上瀬谷)特有のグリーンインフラをもっとアピールし、再び訪れたい地域とする。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P22~23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、横浜・上瀬谷の特徴でもある花や緑、農を基調とするグリーンインフラの導入により、行ってみたい風景・また来たくなる風景を創出し、自然環境と景観形成の具現化に積極的に取り組むこととしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
22	花や緑の魅力をシンプルに美しく見せれば人は来ます。横浜市全体のイベントにしてください。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P15に記載の「事業コンセプト」において、普遍性と先進性を体感し、新たな行動と創造につなげる博覧会とするために、普遍性としては、本物・実物の花や緑などの植物の存在感や魅力を中心に生命に関する圧倒的な本物(リアル)の世界を展開することとし、先進性としては、ICTやAI等の最新情報技術を活用することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
23	参加型で楽しめる会場があってもよいと思う。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなでつくる・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
24	待ち時間を解消する工夫していただきたい。(ファストパスみたいなものでなど)	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P22~23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、会場計画については、移動時にも多様な楽しみを提供できるよう、自動運転による案内や場内輸送を試みることにしています。具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
25	会場は出来るだけ大きく設定してほしい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P20~21に記載の「位置・規模」において、会場面積については、過去の博覧会規模から考慮し、旧上瀬谷通信施設の敷地面積242haのうち、国有地を中心に80~100haでの開催が可能としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
26	レジェンドとして、市民の心に緑を愛する気持ちを醸成したい。それに規模を大きく開催しよう。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P20~21に記載の「位置・規模」において、会場面積については、過去の博覧会規模から考慮し、旧上瀬谷通信施設の敷地面積242haのうち、国有地を中心に80~100haでの開催が可能としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
27	高齢化社会が始まっており幼児や高齢者が多く訪れると思いますので優しい施設作りして下さい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P15に記載の「事業コンセプト」において、多様性と寛容性を共感し、より深く浸透させる博覧会とするために、ユニバーサルデザインの徹底や福祉分野との連携を展開することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
28	CO2等一線の大切さが改めて注目されていますこの様な時に横浜が注目され地域も何等かの時(持)統的な貢献が出来ればこないことはありません。地域・企業も共に協働して、新しい市民意識の醸成ができる機会にしてください。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなでつくる・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
29	自動運転車(例:トヨタが発表した大型のシャトルバス)の導入と道路整備	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P22~23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、会場計画については、移動時にも多様な楽しみを提供できるよう、自動運転による案内や場内輸送を試みることにしています。また、P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることにしています。いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
30	自動運転など日本の技術を世界に広められるように。自然エネルギーを利用して欲しい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P15に記載の「事業コンセプト」において、普遍性と先進性を体感し、新たな行動と創造につなげる博覧会とするために、普遍性としては、本物・実物の花や緑などの植物の存在感や魅力を中心に生命に関する圧倒的な本物(リアル)の世界を展開することとし、先進性としては、ICTやAI等の最新情報技術を活用することとしています。また、P31に記載の「環境共生を目指した地域資源の活用」において、自然との共生やグリーンインフラなどを会場全体に波及させ、再生可能エネルギーの積極的な利用を展開することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
31	花・緑・農だけでなく水、エネルギー、防災など様々な環境要素を取り入れてください。グリーンインフラなど。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P22~23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、横浜・上瀬谷の特徴でもある花や緑、農を基調とするグリーンインフラの導入により、行ってみたい風景・また来たくなる風景を創出し、自然環境と景観形成の具現化に積極的に取り組むこととしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
32	基地内中小河川①大門川②相沢川③和泉川の活用と整備 プロムナードを作る	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P20~21に記載の「位置・規模」において、大門川・相沢川・和泉川の保全と利用を考慮して会場構成とすることとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
33	広い会場なども必要だと思う。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P20~21に記載の「位置・規模」において、会場面積については、過去の博覧会規模から考慮し、旧上瀬谷通信施設の敷地面積242haのうち、国有地を中心に80~100haでの開催が可能としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
34	240ha全体を使った花博の開催を強く望みます。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P20~21に記載の「位置・規模」において、会場面積については、過去の博覧会規模から考慮し、旧上瀬谷通信施設の敷地面積242haのうち、国有地を中心に80~100haでの開催が可能としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。

35	市民・瀬谷区民の気持を思うと是非実施するとともに全体で行って欲しい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P20~21に記載の「位置・規模」において、会場面積については、過去の博覧会規模から考慮し、旧上瀬谷通信施設の敷地面積242haのうち、国有地を中心に80~100haでの開催が可能としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
36	会場における「再生可能エネルギー」の積極的な利用を提案します。 園芸とはいえ、エネルギー(電気)の使用は少なからずイベント内であるはずで、これにより、 ・地域・国内外の「再生可能エネルギー供給会社」「再生可能エネルギーに関連する製造業(部品製造など)」などの参加、波及 ・「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」というSDGsの目標の1つに合致し、「地球環境を展望」という理念に強く沿ったイベントの開催につながるのではないかと考えています	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P31に記載の「環境共生を目指した地域資源の活用」において、自然との共生やグリーンインフラなどを会場全体に波及させ、再生可能エネルギーの積極的な利用を展開することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
37	招致そのものに反対します Y150にしる、H29よこはまフェアにしても、周りの誰もイベントを知らぬ間に、勝手に開催し、終了していた。市民を置き去りにした、ムダなイベントは止めましょう。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、時間軸を国際園芸博覧会の開催前の準備プロセスから開催後の展開までと大きくとらえることとしています。市民の皆様への周知につきましては、継続して取り組んでいきます。
38	今年全国都市緑化よこはまフェアに足を運び、花や緑が心を和ませてくれました。花博でもっと多くの人を和ませてくれることでしょうか。 花博が開かれたら横浜の学校で子供たちが育てた花を展示してほしいです。運に市民が参加できるようにしてほしいです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P17に記載の「基本的な事業構成」において、出展・展示に関する構成内容として、主催者や参加国等による公式出展と市民・NPO、企業、自治体等による企画展示により構成することとし、催事については基本理念や開催テーマを可視化し、博覧会を活性化するための様々な企画催事としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
39	園芸博覧会の計画にあたり、学校での取組みを学校教育としての部門も検討してもらえればと思います。 たとえば、 ・学校における農園芸に対しての「種・苗や道具・設備等の支援」 ・有効な知識や技術を指導・助言していただける「アドバイザーの人的派遣」 ・地域としての教育としての取組みに対しての「広報活動の支援」があればと思います。 こういう事業を展開するとご案内があれば参加してくる学校は少なくないでしょう。農園芸をとおり各学校の特色を展開し、地域にアピールしていく取組みが教育においてかなり有効な可能性を持っていると考えます。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなで作る・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見を踏まえ、「事業展開の考え方」や「事業コンセプト」に学校との連携を反映します。
40	国内外の企業・団体の製品やサービスなどには、自然との共生にヒントを得て提供されているものも多くあります。 そのような取組みをされている企業・団体などに、参加・協働を求めます。 また、各国・地域の自然との共生を紹介できるコンテンツが、開催意義をより高めるものになると考えます。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなで作る・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
41	各種パビリオン、メインステージでのイベント、遊興施設は必要ですが、メインガーデンは、池泉回遊式の日本庭園を配置し、日本ならではの造園技術・植栽・華道・盆栽・工芸菓子などの、生活と結びついた伝統文化・歴史の紹介の場と位置付け、来場者の古くて新しい発見を促します。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P22~23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、会場計画については、自然の持つ多様な機能や景観に着目し、会場空間を可能な限り有機的につなぐとともに、日本庭園の技法など日本独自の空間構造にも考慮した計画とすることとしています。 具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
42	体験型ワークショップ(竹細工や紙漉きなど)の開催、舟遊びをイメージした水上からの遊覧なども有力なコンテンツとして集客できるものと考えます。 さらに、巨大水槽を設置し、ネイチャーアクアリウム(水の中の庭園)も話題になりうるコンテンツと考えます。 夏休み期間中は、花火(英語では味気ないfireworksと言いますが日本語では花なのです)でリピーターを含めた来場者達が期待出来ます。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P17に記載の「基本的な事業構成」において、出展・展示に関する構成内容として、主催者や参加国等による公式出展と市民・NPO、企業、自治体等による企画展示により構成することとし、催事については基本理念や開催テーマを可視化し、博覧会を活性化するための様々な企画催事としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
43	花・緑・農というものは、当然のことながら季節や天気、その日一日の中でも表情を変えます。会場内を彩るそれらの表情の移り変わりまで考慮した配置の工夫が必要と思われる。特に農と食は我々の日常生活と深い関係にあります。そこで、農体験や調理実演・試食などを通して、より身近に感じていただけるコンテンツが必要と思われる。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P20~21に記載の「位置・規模」において、市民の森などのまとまりのある緑や周辺農地を活用した会場構成とすることとしています。いただいたご意見を踏まえ、「会場計画・機能構成の考え方」に、上瀬谷の自然や農との連携を反映します。
44	一般的に横浜は都市と港の町というイメージで語られることが多いと思われそうですが、それらのイメージにグリーンインフラが豊かな町という印象を与えられるようなコネクションのあり方を検討・提案すべきです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P22~23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、横浜・上瀬谷の特徴でもある花や緑、農を基調とするグリーンインフラの導入により、行ってみたい風景・また来たくなる風景を創出し、自然環境と景観形成の具現化に積極的に取り組むこととしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
45	横浜の市花がバラなのに、横浜にバラ園がないのは寂しいです。ぜひともこの機会に大きなバラ園を作って欲しいと思います。 薔薇が大好きで、ばら園には毎年、東京、埼玉、千葉に行っております。横浜にあればとても素晴らしいです。昨年度の花と緑の……はとてもよかったです。でもどれも、とてもよかったです。ばらの花壇であってバラ園ではないので…ぜひともよろしくご検討ください。 横浜国際花博の招致……応援しております。楽しみにしています…	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P17に記載の「基本的な事業構成」において、出展・展示に関する構成内容として、主催者や参加国等による公式出展と市民・NPO、企業、自治体等による企画展示により構成することとし、催事については基本理念や開催テーマを可視化し、博覧会を活性化するための様々な企画催事としています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。 なお横浜市では、「山下公園」と「港の見える丘公園」等にてバラ園を展開しております。
46	みんなで自然を大切にしたい、そういった取組をしたい(ゴミ拾いをみんなに呼びかける、押し花教室の開催、小中学校単位で自然を守るなど)	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなで作る・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見を踏まえ、「事業展開の考え方」や「事業コンセプト」に学校との連携を反映します。
47	国内から海外まで多くの人に参加してもらい、瀬谷、日本のことや様々な国の自然を知ってもらいたい	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなで作る・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
48	子どもから大人まで参加できる国際園芸博覧会にしたい	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなで作る・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
49	自然の大切さや植物などについて小学生が学べる国際園芸博覧会が良い	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなで作る・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見を踏まえ、「事業展開の考え方」や「事業コンセプト」に学校との連携を反映します。

<p>50</p> <p>参加意識を盛り上げるため、近隣区内の小中高校を対象に総合学習の一環として次の事業を2019年度より展開する。 区分：小学校児童 内容：①草花を素材にした押し花づくり ②選定樹種を容器栽培して混植 ネライ：①自然とのふれあいを通じた心の形成 ②10年20年後の夢に挑戦 期間：2018年～2025年</p> <p>区分：中高生生徒 内容：地域に点在する自然景観の発見、保全・再生・創造への挑戦 ネライ：世界に紹介したい地域の自然景観・シンボルゾーンを特定して紹介する 期間：2018年～2025年</p> <p>作品は博覧会会場で展示・公開する。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなでつくる・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見を踏まえ、「事業展開の考え方」や「事業コンセプト」に学校との連携を反映します。</p>
<p>51</p> <p>2019年度より、小学校児童・高齢者を対象に生態系並びに蜜源に適った樹種を多種選定し、容器栽培を行い幼苗を実験農場に混植・密植する事業を展開する。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなでつくる・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見を踏まえ、「事業展開の考え方」や「事業コンセプト」に学校との連携を反映します。</p>
<p>52</p> <p>旧上瀬谷通信施設返還跡地内に小規模の土地を確保して、バックキャストのアプローチによる実践活動に取り組みながら、地域づくり・人づくりの各種手法を習得する。 活動手法例：ポトムアップアプローチ・パートナーシップアプローチ・ネットワークアプローチ・ビジネス力・マネジメント力等 註：各種団体・行政・市民・企業・農家・NPO等の有機的な連携が不可欠</p> <p>その1）花：押し花づくり その2）緑：緑肥の栽培(花の鑑賞と蜜源) その3）農：養蜂事業、日本そば栽培、イチゴ栽培、ひょうたん栽培 その4）生き物：竹林整備作業で発生した間伐竹を微粉砕し野積み山の山を確保してカブト虫の産卵・飼育場を設置する。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなでつくる・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>53</p> <p>横浜市の魅力の活用と発信 ・市街化区域内に残されている起伏に富んだ斜面緑地は自然景観の視覚的效果を高めている。また市街化地域に隣接した樹林地・農地は都市景観・都市型農業の起爆剤となる。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P20～21に記載の「位置・規模」において、市民の森などのまとまりのある緑や周辺農地を活用した会場構成とすることとしています。いただいたご意見を踏まえ、「会場計画・機能構成の考え方」に、上瀬谷の自然や農との連携を反映します。</p>
<p>54</p> <p>上瀬谷の魅力の活用と発信 ・上瀬谷地区には瀬谷区南部地域に展開する資源が隠されている。 一つは、瀬谷八福神の起点は妙光寺で、「妙光寺の梵鐘」は、神奈川県指定文化財の指定。 二つは、瀬谷八福神めぐりの最終になる全通院勢至堂から横浜の名水を生む丹沢山塊と霊峰富士の眺望台である（見晴台を新設したい）。境内の大藤は横浜市「名木」指定。</p>	<p>上瀬谷地区の魅力と地域資源を出来るだけ活用するよう、いただいたご意見を踏まえ、「事業コンテンツ」に上瀬谷の歴史と地域資源を反映します。</p>
<p>55</p> <p>上瀬谷の魅力の活用と発信 ・跡地内の湧水を活かした皿池を造成しホテルの生息ゾーンを創る。 カブト虫・ミツバチ等が乱舞する自然との共生による地方創生の拠点</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P31に記載の「環境共生を目指した地域資源の活用」において、自然との共生やグリーンインフラなどを会場全体に波及させ、生物生息・生育環境に配慮し、生物多様性の可視化を展開することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>56</p> <p>地域の実践活動を推進するに際しては、各地で推進している環境改善活動のアドバイザーの役割を担っている団体との連携。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなでつくる・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>57</p> <p>・竹林は、放置化が進むと、土砂災害や風景の悪化が起ってしまう。こうした竹を少しでも減らすために、竹の利点を生かし、資源としてもっと有効に使いたい。 ・竹林の様子はすっかり荒れ果てています。その様な竹林が美しくもどる風景こそが花博のメインテーマである「幸せを導く風景」なのではないでしょうか。私達は竹林の美しい景色を守りたい。</p>	<p>上瀬谷地区の魅力と地域資源を出来るだけ活用するよう、いただいたご意見を踏まえ、「事業コンテンツ」に上瀬谷の歴史と地域資源を反映します。</p>
<p>58</p> <p>計画策定の段階から、市民参加に賛成します。 ○スーラシアとの連携 横浜の誇る観光地のスーラシアと連携を提案します。 スーラシアとの共同企画 スーラシア花博入場券、シャトルバス、夜間開園企画など ○市民参加で植物を育てるところから 小学校で、花の苗を育てる、樹木を育てる。 育てた花や樹木を敷地内に植える。植樹祭をする。地植えが無理ならコンテナに植える。</p> <p>小学校に限りません。 中学、高校、各種老人など、公園愛護会などです。 プロが育てた樹木だけでなく、横浜に自然に生える植物。 病気が少ない品種に限るとか、敷地に入れる前に、プロがチェックするとか、それなりに仕組が必要。 無難な品種は、横浜に古くから、江戸時代から自然に生える、増える植物。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P14に記載の「事業展開の考え方」において、国際園芸博覧会の計画策定や会場整備等の段階から、市民・企業の参加を得て、みんなでつくる・つくり続ける博覧会として、博覧会後も、そのレガシーが社会に定着することを促進することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>59</p> <p>事業コンセプトですから、抽象的なのは仕方がないのですが、良く読むと分かりにくい。 普遍的なリアルな本物の自然と、～科学・技術による世界の相乗効果 言いたい事はわかるのです。 自然は人工的ではないのですが、技術の世界は人工的です。違う物をかけ合わせる。 (それらを相乗する。)言葉が不足してる気がします。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、表現を工夫します。</p>
<p>60</p> <p>グリーンインフラの導入とありますが、深谷通信基地跡地利用計画はややグレーがかかった、グリーンインフラ事例だと考えます。 健康維持、農地利用、樹木などみどり、市民利用、防災減災</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P22～23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、横浜・上瀬谷の特徴でもある花や緑、農を基調とするグリーンインフラの導入により、行ってみたい風景・また来なくなる風景を創出し、自然環境と景観形成の具現化に積極的に取り組むこととしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>61</p> <p>待ち時間の間でも楽しむ具体的な方法がわかりません。 一例として、「スマホで園内画像や情報が見れる」が考えられます。賛成しますが、スマホを持たない人は？</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P22～23に記載の「会場計画・機能構成の基本的な考え方」において、会場計画については、移動時や待ち時間でも多様な楽しみを提供できる仕組みとすることとしています。 具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>62</p> <p>当計画については、貴重な草原環境を保全する必要があることから反対します。 横浜市では市民の森制度により、市内に現存する貴重な自然環境を保全する政策をとられていますが、他市にも誇れる非常に優れた制度だと思えます。このように森林が保全される一方で、軽視されがちなのが草原環境の保全です。中でも上瀬谷通信跡地は市内最大の草原地帯であり、草原を生息環境とする鳥類や昆虫、爬虫類などが多く生息しています。 このような博覧会を開催することにより開発の手が及ぶと、市内の生物多様性を著しく害することになるでしょう。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P31に記載の「環境共生を目指した地域資源の活用」において、自然との共生やグリーンインフラなどを会場全体に波及させ、生物生息・生育環境に配慮し、生物多様性の可視化を展開することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>

分類3) 宿泊・輸送計画について

NO.	ご意見	本市の考え方
1	<p>計画素案の中で、入場者予測数1500万人以上とありますが、この来場者数を近隣鉄道各駅からのシャトルバスでの連絡は、現実的ではないと思う。 なぜなら、今年(2017年)の全国都市緑化フェアの郊外展開として「里山ガーデン」がりましたが、会場へのアクセス不足・マイカーによる周辺道路の渋滞等を勘案すると、現在でも慢性的渋滞の「保土ヶ谷バイパス」・東名「横浜・町田IC」および、国道16号・246号など開催期間中は、通勤・通学者はもとより物流関係等々、多大な影響が考えられる。 やはり「鉄道」による大量輸送手段が望ましい。 提案として、何十年か前に計画があったと伝えられるが(その後立ち消え?)、現在JR横浜線「中山」駅まで来ている市営地下鉄グリーンラインの「瀬谷」駅までの延伸が望ましい。 「園芸博」のみならず横浜市北部活性化のため早急な対応を願いたい。 案として、地域活性化等も含め途中停車駅は「中山」→「四季の森公園(北)」→「横浜動物園北門」(春・秋の里山ガーデンにも対応)→「横浜・若葉台」→「御本町」→「上瀬谷(会場入口)」→相鉄線連絡「瀬谷」</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。</p>
2	<p>東名高速にスマートICを新規に整備して、さらに八王子街道の上に高架で保土ヶ谷バイパス上川井ICと直結で結んで、一般道に流入するトラックを減らす効果・効率化が図れます。</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
3	<p>LRTではなく新交通システムを瀬谷駅から4号線をとおり、米軍基地の真ん中で右折してそのまま川井・若葉台・霧が丘・長津田と人口ある場所を通り、こどもの国線と接続、延伸して鶴川駅と結ば、相鉄・横浜線・田園都市線・小田急線と花博会場へ都心から各地からスムーズに集客できると共に、交通インフラの遅れた郊外型住宅地の再生が可能になります。</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
4	<p>現状では会場予定地への移動手段は貧弱ではあるけど、新たに整備できる余地は多分にあると思います。現状の海軍道路の桜並木の外側に車線の増設。あるいは並行して瀬谷駅⇨会場、さらにその先の十日市場駅間へ延伸するルートでLRT(間に合わなければBRTでも)の整備を進めるのもいいと思われます。 上記整備をするのに、海軍道路の桜並木がネックになると思われませんが、現在でも有名な存在ですし、花博開催時なら瀬谷駅から会場への動線案内も担えるシンボリックな並木なので、これを無くすのは無意味です。桜並木を残し、活かしつつ、整備を進める方向を検討してもらいたいです。</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
5	<p>相当の来場客の輸送手段を博覧会後の街づくりを見据えて整備することが重要</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
6	<p>花博終了後も見据え、相鉄線だけでなく、都心へのアクセス性が便利な東急線などと接続する公共交通機関を設置するべき。</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
7	<p>都心からのアクセス性を向上させるべき。 例：第二の東急・相鉄連絡線(南町田〜瀬谷間)、LRTの導入等</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
8	<p>交通インフラが重要で、是非とも鉄道(中山駅から瀬谷駅へのグリーンラインの延伸)を実現して欲しい。</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
9	<p>博覧会には多くの方が訪れると思いますが、地元としては交通渋滞が心配で、瀬谷駅等へ接続する鉄道を実現してほしいです。できればグリーンラインを中山駅から瀬谷駅まで伸ばしてほしい。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。</p>
10	<p>将来も見据え、都心とのアクセス性が重要であると考えます。東急線(渋谷へ)へのバスや新都市交通等の整備などがいいのでは。</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
11	<p>横浜を市外の人が想像する時のイメージは何かと考えると、横浜=みなと、関内・山手周辺、中華街、MM21となり、西区・中区周辺を意識します。 今回上瀬谷通信施設区域で「横浜国際花博」を開催するのであれば、横浜の地名を使用するのだから来た人に横浜のおもてなしをすることが必要と考えます。 観光都市横浜として、花博+関内周辺観光がセットとなるような仕組みを考え、関内周辺にもお金を落としてもらい、開催経費の一部が形を変え市に戻ることを期待します。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P28に記載の「宿泊計画」において、東京2020オリンピック・パラリンピック開催にあたって整備される横浜市内の宿泊施設を中心に、関連プログラムやツアーの設定により、首都圏の観光拠点・宿泊施設への波及を計画することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
12	<p>交通の便が悪いと思うので是非、新たな交通計画を花博計画に盛り込んでいただきたいと思います。具体的には路面電車の復活を期待します。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。</p>
13	<p>やや不便な場所での開催だと思うのでいかに行きやすさを作っていくかが大切。これを機会にグリーンラインの二俣川までの延伸を行い、都岡町あたりからもシャトルバスを走らせて、瀬谷からと二つのメインルートにするのが良いと思う。</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
14	<p>上瀬谷地区は道路アクセスに優れているところであるが、「花博」という特性上シャトルバス等に頼るのではなく、鉄道や新交通などによる輸送を積極的に進めていくことがベストなように思う。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。</p>
15	<p>期待しています!! 輸送手段は大事ですね</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。</p>
16	<p>会場への輸送計画が重要課題と考える。LRT、BRTの新規整備なしに満足のゆくアクセスが得られるとは思えない。 来場者にアクセス時でストレスを与えると博覧会自体への印象に大きく影響すると思われる。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。</p>
17	<p>瀬谷駅から鉄道をひき</p>	<p>将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>

18	環状4号線に来場者の車が入り、大渋滞とならないよう対策をとってほしい。十日市場駅～(離れた場所にある) 駐車場～会場～瀬谷駅間のLRTやシャトルバス(専用レーン)を考えてほしい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
19	環状4号線とそれに付随する道路のインフラ整備と高速道路(東名)への直結する道路整備を期待する。	将来の土地利用の進捗に合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
20	輸送手段(旅客)等々については、瀬谷駅を中心として路面電車・モルル等を考慮されたい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
21	只でさえ渋滞の激しい上瀬谷地区の道路整備と輸送手段の確保が大きな課題と考える。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
22	輸送計画は入念に行き近くの駅よりマイクロバスの多用と自家用の車両は原則禁止(2km以外の駐車場)	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
23	会場へのアクセスが大きな課題と思います。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
24	宿泊と農体験がセットになると、田舎暮らし体験のようで楽しいと思う。宿泊は、古民家風で、一過性で終わらない土台を作ることが大切だと思います。古民家は是非花粉症泣かせの杉(市内の)を使って下さい。農産物の直売りマルシェ横浜の道の駅のような存在になれば人は集まります。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P28に記載の「宿泊計画」において、国際園芸博覧会の新たなアクティビティとして、環境にやさしいライフスタイルを体験する等、参加・滞在型となる宿泊可能性を検討することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。 また、いただいたご意見を踏まえ、P31に記載の「環境共生を目指した地域資源の活用」の表現を工夫します。
25	周辺道路の整備促進	将来の土地利用の進捗に合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
26	現地への交通手段はどう考えが進んでいるのか心配です。「上瀬谷」が付くだけあって「瀬谷駅」はメインの最寄り駅になると思いますが小さな駅ですし、日常生活に観光客(来場者)による影響が出ない様を考えてもらいたいです。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
27	バイパスからは近いが、駅から離れているのが気になる。無料バスが出たとしても、行きも帰りも混むのでは、気軽に行けないと思う。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
28	開催期間中の来場者数は、1日平均83千人と想定される中で、観客の安全で円滑な移動手段の確保は、道路、交通網などの整備なくしては不可能である。そこで、この道路などの「インフラ整備計画」などの早期着手は「跡地利用計画策定」が進んでいる中で、同時併行的に検討する必要がありますと考えますので、「横浜市中期計画」に採択し、事業を推進されるよう要望します。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
29	瀬谷駅→園芸博覧会場→ズーラシア→中山駅を結ぶ交通機関が必要(バスではなくモノレール、LRTなどの大量輸送手段)・みどり博の時に道路の大渋滞を起こしたのが問題。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
30	基盤整備として①海軍道路4車線化②基地外周道路の新設③基地東西・南北それぞれ幹線道路を新設すること	将来の土地利用の進捗に合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
31	基本構想(素案)の中に①基地242ha外周道路の新設②海軍道路の4車線化③東西・南北に2つの幹線道路の敷設の3点を是非とも入れてほしい。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
32	瀬谷区は道がせまい所が多いので、交通の整備等も良くなれば良いと思う。	将来の土地利用の進捗に合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
33	バスが少ないので、増やした方が行きやすくなると思います。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
34	環状4号線を基軸として東名及び保土ヶ谷バイパスへの連絡道路の敷設と本施設周辺道路の拡充とインフラ整備を行って欲しい。道路(インフラ)の充実が可能でなければ、全ての「町おこし」計画は不可能と考える。	将来の土地利用の進捗に合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
35	南北、西北方向の幹線道路の新設 東名高速との直接接続 柏尾線との接続 コミュニティバスの運行	将来の土地利用の進捗に合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。

36	花博を機会に是非海軍道路にLRTの交通機関を	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
37	海軍道路に交通手段を、LRTの導入を	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
38	輸送手段は、地下鉄がぜひほしい。東名高速から会場へ直接入れる様にして下さい。国有地、民有地（農地）を含む周辺道路、東西間、南北間の道路が必要。それと一般道との接続。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
39	開催特は特に交通網の充実が必要であり近郊の相鉄、市営地下鉄への協力も要す	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
40	輸送手段について、送迎バスだと開催期間だけの運行になってしまうので、開催後も使えるような方法を考えて欲しい。	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
41	導入するインフラ（交通等）が負の遺産にならないようにしてほしい。	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
42	相鉄線瀬谷駅だけでなく、東急線南町田駅からのバスもあると良いと思う。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
43	瀬谷区には宿泊施設などあまりなく人を集めるために必要だと思う。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P28に記載の「宿泊計画」において、国際園芸博覧会の新たなアクティビティとして、環境にやさしいライフスタイルを体験する等、参加・滞在型となる宿泊可能性を検討することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
44	交通手段も大切だと思う。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
45	将来を見据え、交通アクセス網の構築を図ることが重要と考えます。	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
46	骨格道路を早く策定すること 1 4号線4車線化とモノレール設置 2 外周道路の敷設 3 東西・南北それぞれ2つの幹線道路 4 東名横浜インター連結道路	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
47	道路等拡充が必要	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
48	輸送手段の整備を必ず検討して下さい。	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
49	花博の開催にともなうインフラの整備が大事。博覧会は絶対やって頂きたい。瀬谷街づくりの基本と思う。	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
50	日常生活上、交通渋滞が気がかり	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
51	・地下鉄を通して下さい。 ・道路整備をお願いします。	将来の土地利用の進捗よくに合わせて、周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通について検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。
52	会場への交通手段として、自家用車に頼るのではなく、公共交通機関を主に利用出来るようにすべきだと考えます。 具体的には、LRT(新型路面電車システム)等の新しい交通システムを導入し、環境問題や交通問題に対する提案として積極的に内外へアピールするべきだと思います	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。

<p>53</p> <p>昨年開催の説明会を拝見しましたが、輸送手段に関しては1500万からの観客をシャトルバスだけで運びきるのは流石に無理があるのではないのでしょうか？ 跡地の利用方法が全く決まっていない為、交通に関してはほぼ白紙とのことでしたが、周辺の大規模団地や、集客施設の交通手段としても利用できるアイデアを考えてみました。 環状4号線上ですが、瀬谷口は幅員が充分でなく、う回路もないので用地買収が必須ですが、かなり建て込んでいますので困難が予想されます。 一方北側は十日市場駅に繋がりますが、卸センターから先、若葉台からのバスが合流する辺りまではあまり人が住んでいません。 なので駅へのアクセスとして次の通り考えてみました。 上瀬谷付近からの国道16号に完全並行して水道道が通っています。 その性質上曲線は緩やかで、概ね2車線です。 この道を公共交通専用(優先)にし、沿道住民以外は通れないようにできれば鶴ヶ峰駅までのルートが開けます。 ここに長編成のLRTを走らせれば輸送力はある程度確保できます。若葉台団地やズーラシアへのアクセスとしても使えます。 一方西側は、他市になりますが比較的近くを小田急江ノ島線が通っています。 これが鶴間駅と大和駅の丁度中間辺りで東名高速と交差します。 すぐそばに東名大和バスストップもあるので、ここに新駅を作り、バスタ新宿的な展開をすれば一大交通結節点となり、湘南地区、県央部、町田、川崎の一部あたりまで、高速バスの恩恵を受けられるようになります。 この恩恵を横浜市西部でも享受する為、また駅への迅速なアクセスの為、この結節点と上瀬谷地域を結びたいと考えました。 (横浜市マターではなくってしましますが、新駅に関しては市役所から徒歩15分程度なので大和にも恩恵があるはずで…) 以上、拙いながらもアイデアを出してみました。 上瀬谷地域の開発に限らず、大規模団地や集客施設の交通手段としても水道道の活用は効果的と思われると思います。 現状、国道16号の拡幅が思うようにならないのであれば、道路の運用面で工夫をする余地がここにはまだあると思います。 このようなアイデアも、検討して下さいませうお願い致します。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。</p>
<p>54</p> <p>これまでの博覧会では、既存の宿泊施設は勿論のこと、新設の宿泊施設が多数建設されることもありますが、特に地方都市では、後に過剰供給を招くこともありました。 また、移動手段の高速化によって、日帰り観光も容易になってきています。 最近話題の民泊も活用できると思いますが、従来型の宿泊にこだわらない多様な宿泊形態を提供する必要があります。 例 再整備が必要な市営住宅の活用 会場内または隣接地にキャンプ場 (従来型のキャンプ場や高級志向のグランピング、キャンピングカー専用のサイトなど) 青少年野外活動センターのような、学校教育につながる市内外の小中学生向けの施設 など</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P28に記載の「宿泊計画」において、国際園芸博覧会の新たなアクティビティとして、環境にやさしいライフスタイルを体験する等、参加・滞在型となる宿泊可能性を検討することとしています。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>55</p> <p>来場者を1500万人以上と想定していることを前提とすると、バス輸送や自家用車だけでは道路整備を行っても問題が発生すると思われれます。 各最寄駅からも距離があるので、自家用車の抑制を考えればモノレールや新交通システム等の道路渋滞に左右されない公共交通は不可欠です。 2027年開業予定のリニアの接続を見込んで、瀬谷駅から横浜線に接続するものが、閉会後の維持管理にも有効であると考えます。 東名高速からのアクセスとして、横浜町田ICとは別により会場に近い位置にスマートICを設置して、車両の分散化を図る必要があります。</p>	<p>周辺幹線道路の改良や、BRT・中量軌道等の新たな交通については、将来の土地利用とともに、検討を進めています。いただいたご意見については、関係部署に共有するとともに、旧上瀬谷通信施設の基盤整備に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
<p>56</p> <p>周辺サイクリング道路から会場までのサイクリング道路を整備することにより、閉会後の公園利用にも有効です。(大門川の暗渠化など)</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。 いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については将来の土地利用と整合を図りながら、博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。</p>
<p>57</p> <p>特別な体験が具体的にわかりません。 上瀬谷に、里山ガーデンの様な林があまり見当たりません。 グランピングやファームステイには賛成します。 写真と、実際に作られるものが、違うのではないかと危惧です。 写真の様なわらびきの屋根はともいい</p>	<p>旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案)P28に記載の「宿泊計画」において、国際園芸博覧会の新たなアクティビティとして、環境にやさしいライフスタイルを体験する等、参加・滞在型となる宿泊可能性を検討することとしています。 いただいたご意見を踏まえて、グランピングイメージの写真を見直します。</p>

分類4)その他

NO.	ご意見	本市の考え方
1	愛知万博に幾度となく訪れた経験として、入場にかかる手続き(入場券販売や手荷物検査など)は効率よく運用されたい。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
2	花博である以上切り口は「花」ですが、素案にあるように農との連携や将来にわたる森の保全など、横浜の緑施策全般の推進につながる内容となることを期待したい。	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
3	テーマや考え方の枠組みは概ね良い 現段階では、どのようなイベントとなるかがわかりにくいので、徐々に具体的な内容を示してほしい 具体的な内容に移行する段階で、基本構想で提示された理念とぶれないように検討を進めてほしい	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
4	開催には賛成です。横浜市を盛り上げるための新たな起爆剤になるように思うからです。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
5	横浜は「海」という印象が強いと思うが、こんなに都心に近いのに実は「山」や「緑」が豊かであるということをアピールするには良い機会だと思う。	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
6	ここにかかる膨大な経費で市政として優先すべきことはほかにはないのでしょうか？	開催経費については、過去の博覧会を参考に、現時点の試算として算出したものとなります。具体的な運営計画や会場計画の検討において精査と縮減を図りますが、いただいたご意見は、市政全般に関するご意見と受け止め、関係部署と情報共有させていただきます。
7	横浜の魅力(近未来都市と緑豊かな自然)を世界へ発信	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。

8	環境未来都市への取組みをアピール	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
9	Y150の失敗もあり、博覧会を実施する必要があるのでしょうか？会場建設費で190～240億円も使用するなら、もっと別の優先順位が高い施策が出来るのではないのでしょうか。この市民意見募集も、言い訳のためにやっているとしたかと思えません。上瀬谷通信施設跡地は、言いは悪いかもしれませんが、陸の孤島です。市の言う1500万人以上もの来場者をどのように運ぶのかはなほ疑問。博覧会は中止してほしい。	開催経費については、過去の博覧会を参考に、現時点の試算として算出したものとなります。具体的な運営計画や会場計画の検討において精査と縮減を図りますが、いただいたご意見は、市政全般に関するご意見と受け止め、関係部署と情報共有させていただきます。また、旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想（素案）P27に記載の「輸送計画の考え方」において、輸送計画については、ひとつのルートに集中することがないよう、多方面に分散させることとしています。いただいたご意見を踏まえ、交通混雑緩和のため道路の機能強化を図るとともに、さらなる利便性向上やより多くの来場を促す観点から、新たな交通については博覧会時に有効に機能する交通手段を見極めて対応します。
10	「花博」開催後の諸施設の点検と機能の充実を図る	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
11	その他諸施設設置については、地元の人・物を重視して欲しい。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
12	直接関係ありませんが、長生きして、博覧会を元気で見たいと考えています。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
13	花と緑の祭典の成功を祈る	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
14	たのしみですが、お金をかけすぎないようにして下さい。	開催経費については、過去の博覧会を参考に、現時点の試算として算出したものとなります。具体的な運営計画や会場計画の検討において精査と縮減を図ります。
15	ボランティアをやりたい。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
16	大いに、横浜をもっともっと知ってもらえるいい機会であると思います。花フェアから大きな舞台への成功を祈念しております。	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
17	開催経費が巨大となるので赤字とにならないような計画の精査が必要と考える。	開催経費については、過去の博覧会を参考に、現時点の試算として算出したものとなります。具体的な運営計画や会場計画の検討において精査と縮減を図ります。
18	横浜をPRするには最大のチャンスです頑張ってください。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
19	花博の効果を横浜域に留めず、広く波及させるため、神奈川県と連携した博覧会にして欲しい。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
20	横浜といえば、横浜駅・桜木町・開内（中華街・元町）がメイン（海側）なので、旧上瀬谷通信施設を利用して催し物をするのは楽しみです。ぜひ横浜市の内陸の方にも来て頂き世界にアピールして欲しいです。	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
21	理念が大変難しいです。何をしたいのでしょうか。わかりません。	いただいたご意見を踏まえ、表現を見直します。
22	是非開催して下さい。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
23	台風で里山ガーデンに行けなかった事もあるので、天気が悪くても楽しめる展示・行催事場だと嬉しい。	具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
24	子供を連れて歩くので、休めるスペース、小さくても遊べるスペースを多めに配置して欲しい。	具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
25	横浜で開発された花が、世界へはばたく礎となるようなイベントを期待しています。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
26	都市緑花フェアで感じた花と緑のハーモニーを今一度見せてほしい。	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
27	横浜らしさを取り入れて、例えば日本大通りと同じ幅の道路や、その始点終点にミニチュアランドマークの案内所を作るとか、横浜のイメージを膨らませる施設作りを期待します。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
28	旧上瀬谷通信施設区域は郊外にあり、車であれば便利な場所ですが、子供を連れて乳母車を押し電車で行くには大変不便です。公共交通機関で行く人を考え、会場までのアクセスと会場内のアクセスを考えて下さい。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
29	花博の開催については、まずハード面の充実が必要絶対条件ではないか。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
30	シンボルタワーの設置（瀬谷のシンボル（ランドマーク）となるもの）（例：大阪博の太陽の塔）	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。

31	久々に夢のあるプランだと思います。世界に「日本」「横浜」「瀬谷」をPRする絶好の機会です。	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
32	瀬谷区民の意見を充分反映してください。お願いします。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
33	見て回るだけの展示方法だと、大阪のように廃墟化してしまうと思うので、開催後の利用も考えた会場構成にして欲しい。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
34	上瀬谷の施設を、工事の開始迄の期間、市民への利用を考えて欲しい。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
35	開催に協力する方、開催される地域、開催時訪れる客、全てにとって何かプラスが残るものでないと、(どこか一方が欠けても)開催する意義が薄れると思います。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
36	緑化フェアとても楽しませていただきました。花と緑の持つ力の素晴らしさを再認識しました。国際花博も期待しています。頑張ってください！	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
37	市・区・国の花をまとめて調和等を表現してみても如何でしょうか？	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
38	都市緑化横浜フェアの感動をもう一度。	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
39	ガーデンシティーヨコハマとして、市街地とともに農を美しく見せる仕組が必要と思います。	国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多彩な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
40	ムダなハコモノなどを作らずに、市民税を下げて欲しいです。	いただいたご意見は、市政全般に関するご意見と受け止め、関係部署と情報共有させていただきます。
41	区の施設をどうするかという長期的な構想を早く作り上げ、花博はその還税の一つと考えます。数年先の事にとらわれず、100年先を見誤らない様、営む。	いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
42	イメージキャラクターを設けるのであれば、ゆるキャラではなく、(「横浜農場」のように、)横浜らしい、おしゃれ且つ温かみを感じさせるセンスのよいものをしっかりデザインしてほしい。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
43	シンボルタワーなどのモニュメントは、災害時に於ける救援活動の拠点になり得るように建設し、防災・救援ヘリなどの誘導管制機能を持たせる。 イベント開催などに使用できる多目的広場も災害時の利用を想定できるものにする。 景観・防災対策としての無電柱化。 瀬谷市民の森の再整備と活用(花博無料エリアとして活用)(ボランティアのプレイリーダーによる、遊び方制限の少ないプレイパーク化) 開催経費の収入財源の確保のために、横浜サポーターズ寄附金の活用。(チケットやグッズなどの返礼品だけでなく、建設中の会場をガイド付きで見学できるツアーの提供も面白く、話題になれば資金調達や集客効果にも期待出来ます。) ムスリムフレンドリーに代表される、諸外国からの観光客に配慮した施設や食事の提供も必要です。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。

<p>■景観・修景植栽基盤づくりの時期の違い 樹木の植え付け ⇒ 開催5年前 多年草の植え付け ⇒ 開催3年前 *開催直前、又は早く開催半年前に植栽植え付け準備をする日本のフェア的な準備と異なり、オランダでは、即席の花壇ではなく、「植物本来の姿が作り出す景色」を見せることができていた。</p> <p>■植物の利用が大成功と見られている下記2件を終幕後から毎年確認に行っているところ、 1.オランダ国際園芸博 ⇒活用が続いているが、建物利用、緑地利用の人が少ない。現段階では成功には見えない。 「園芸博」としての修景・植栽利用は大成功、非常に魅力と効果のあったものであったが、その後の維持・活用がうまくいっていないようである。</p> <p>2.ロンドンオリンピック ⇒周囲の商業施設やレジャー、集合住宅建設による大変な集客力、治安の改善。緑化も更に展開が進んでいる。</p> <p>■オランダ国際園芸博覧会 ⇒ 全国都市緑化よこはまフェアへの文化・技術の伝達 オランダ国際園芸博覧会フロリアード（2012）の自然的でかつ長期にわたる景観の在り方を横浜へ伝えるべく、緑化フェアの新港中央広場ではオランダ園芸博の全体の球根デザイン、植栽修景デザインの一部もされていったジャククリーン氏を呼び込み、横浜に「海外の新たな都会の緑地の在り方」を示していただきました。この新港中央広場では、フェア後も継続して「自然的/ナチュラルスティック」な景観を保ちながらの管理を行い、現在も日本では非常に珍しい「冬の都会の緑地景観」も観ることができます。</p> <p>※ジャククリーン氏は、「素案」にも記載のあるニューヨークのハイラインの植栽をデザインされたPiet Oudolf氏がデザインしたLurie Garden（シカゴ）、Battery Park（ニューヨーク）（共にアメリカ）の球根デザインを担当されていた方です。</p> <p>■市民の知識・技術・モチベーションの向上 また、横浜市の緑化フェアの市民連携花壇では、ジャククリーン氏より継承した春咲き球根の利用法を起爆剤とし、地域の公園ではまだまだ近い方がわからないという「多年草」の使い方を実際に山下公園の一角を利用して講習を行っている。現在も植付1年後の生長を経たからこそその講習内容を継続中。 こういった地域市民の知識と経験を園芸博の準備段階までにアップさせ、今回の緑化フェアでは多少「お客様」的な体制であったが、園芸博では会場づくりや会期中の管理、そして閉幕後の地域の緑化の活性化として真に技術と感覚、モチベーションのある人材を育てていくことが「園芸博」をやる意義の一つであり、さらなる未来への「継承」とつながります。</p> <p>■国際目線では 「花博」ではなく「園芸博」 「花と緑」ではなく「緑」</p> <p>「園芸博覧会」であったフロリアード（オランダ）であるが、日本国内では「花博」と告知されていた場面でもあり、「花博」というイメージで来場された日本の方々には大きなギャップが感じられたようです。（特に2002年のフロリアードでは、切り花装飾関係が多かったため） フロリアードは、持続可能なナチュラルスティックな植栽、ナチュラルな植物の組み合わせなどが広大なランドスケープにおいて繰り広げられ、展示の殆どが「持続可能な」をキーワードに展開。そこに意識を集中すると、大変メッセージ性の強い博覧会でした。</p> <p>「Green」、「Plants」と会場内で発言している海外の方々の中で、「Flower」と花に固執しているのは日本チームだけであったように感じます。 国際社会の中で、「花」は「緑」や「植物」に含まれる要素であって、「緑」や「植物」と発言することによって「花」も意味する。</p> <p>日本人のみを対象とするのであれば「花と緑」を表に出すのがわかりやすいのかもしれませんが、「国際的にメッセージを発信」となると、ここの表現ワードが非常に遅れているように捉えられる懸念があります。</p> <p>■日本における低木以下の「緑化」に対する考え方、見せ方の方向性の見直し 近年欧米で作られている緑化・ガーデン・花壇の傾向として、以下が目立っています。 ●環境に合った植物の利用（人為的にコントロールすることを必要最小限とし、植物自体の生き方に合った管理ができる形態をとれるようにデザインの工夫を行っている。）⇒イングリッシュガーデン的な考え（人為的な手入れがあってこそその成り立つ華やかさ） ●自生の植物も利用 ●人の目にも魅力的ない移り変わりのデザイン ●一年中移り変わっていく</p> <p>アメリカ、ドイツ、イギリス、オランダ・・・海外のこういった国々では、現在の緑化、ガーデンの傾向は「より環境に合った、自然的な」方向のようです。しかしながら日本の園芸界の多くは、それを意識している人はいるものの、まだまだそれと大きくかけ離れている、ずれているように感じられます。</p>	<p>いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。</p>
<p>44</p>	
<p>45</p> <p>自然あふれる環境になって欲しい</p>	<p>いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。</p>
<p>46</p> <p>国際園芸博覧会に参加したい</p>	<p>いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。</p>
<p>47</p> <p>平和な国になって欲しい</p>	<p>いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。</p>
<p>48</p> <p>世界保健機関（WHO）によって2001年に障がい者等のよりよいサポートを指向して採択されたICF（国際生活機能分類）への対応についてご検討をお願いしたい。</p>	<p>博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>49</p> <p>横浜市の魅力の活用と発信 横浜市民の命をまもる水道水の供給システムは、1887（明治20）年にわが国初の近代水道として完成し、外国船からは「赤道を越えても腐らない美味しい水」として愛飲された。その水源は瀬谷区西部に広がる丹沢山塊の水源林から供給されている。</p>	<p>国際園芸博覧会を開催することで、横浜の多様な魅力を発信できるよう、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>50</p> <p>古い歴史・文化が残されている地域のまちづくりに対する貴重な道しるべとなる一文をご紹介します。所詮、まちづくりは文化と文明の融合であるとの意識を共有すること。</p> <p>司馬遼太郎著：アメリカ素描より 【人間は群れてしか生存できない。その集団をささえているものが、文明と文化である。いずれもくらしを秩序づけ、かつ安らがせている。 ここで定義を設けておきたい。文明は、「たれもが参加できる普遍的なもの・合理的なもの・機能的なもの」をさすのに対し、文化はむしろ不合理なものであり、特定の集団（例えば民族）においてのみ通用する特殊なもので、他に及ぼしがたい。つまりは普遍的ではない。】</p>	<p>いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。</p>

51	記述の内容一つ一つは問題がないのですが、開催意義の何が重要なのがよくわからないのです。 グリーンインフラも同じで、定義が多様。	いただいたご意見を踏まえ、表現を見直します。
52	プレオープン。上瀬谷の強みの一つは、海軍道路の桜並木だと思います。 この花が早く咲くのであれば、（温暖化が進むので）部分的でも、開園してほしい。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
53	移動景、団塊の専門用語が難しい。 築山は少し高く土を盛り上げるなどするのでしょうか。	いただいたご意見を踏まえ、注釈を追加します。
54	早朝、夜間開催に賛成 2026年ですから、現在より温暖化が進み、猛暑が危惧されます。 朝は、日の出の時刻から、混まない内に、涼しい時間に回りたい。（並びたくない。） 夜も同じですが、夜に咲く花とか、イルミネーションとかを工夫してほしいです。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
55	LRTは鉄道だとわかるのですが、BRTは？	いただいたご意見を踏まえ、注釈を追加します。
56	参加、滞在型のコンセプトとありますが、コンテンツではありませんか？	いただいたご意見を踏まえ、記載を見直します。
57	園内で発生するし尿から、リン、カリを回収するプラントを会場近くに作り、リン、カリを肥料にして、園内の植物にあてたい。江戸時代のリサイクルを一部再現できます。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
58	水が出れば、井戸を掘ってはどうか。将来的に公園でも農園でも、井戸水を使う。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
59	移動電源車はぜひ実現してほしい。いずれ都市公園になり、防災拠点になるのなら電源車はいずれ必要になる。防災訓練は、閉会時間に限らず、開園時間にもやってほしい。	博覧会時における具体的な計画については今後の検討となりますが、いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
60	経費 深谷通信隊の約400億円に比べて建設費が少なく、妥当。 （深谷が高すぎるのかもしれない。） 県はいくら出すのでしょうか？	開催経費については、過去の博覧会を参考に、現時点の試算として算出したものとなります。具体的な運営計画や会場計画の検討において精査と縮減を図ります。。なお、国や県等の負担割合については、今後調整することとなります。
61	当計画については、博覧会など行政が主体として開催する企画は現代にそぐわないことから反対します。 博覧会の成功例として大阪万博が筆頭に挙げられるでしょう。もっとも大阪万博が成功した理由は時代背景として娯楽が少なかったことにあり、様々な娯楽が生まれて休日の過ごし方も多様化した現代において博覧会は成功する蓋然性は低いでしょう。 横浜開港博覧会の際、小学生であったため学校行事として参加しましたが、非常に閑散としていた光景を覚えています。上瀬谷という立地の利便性を考えると尚更集客には期待できないと思います。	旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想(素案) P1に記載の「序文」において、旧上瀬谷通信施設において、花と緑をシンボルとした国際園芸博覧会が開催されることで、基地跡地のまちづくりが進み、経済の活性化につながるのと同時に、横浜から世界に向けた未来への提案や友好と平和のメッセージの発信になることを掲げています。いただいたご意見については、関係部署で共有させていただきます。
62	当計画については、税金の利用方法として不適切であることから反対します。 このような博覧会を開催することで、市にとっては国際的知名度の向上やイメージアップが達成できるでしょう。もちろんこれらは重要な政策目的だと思います。 しかし、より重要な政策があるのではないのでしょうか。 高齢化問題や、児童福祉など社会福祉制度の向上、そして防災対策の充実などが挙げられます。 税金の使い方を再考していただきたいと思います。	開催経費については、過去の博覧会を参考に、現時点の試算として算出したものとなります。具体的な運営計画や会場計画の検討において精査と縮減を図ることとしていますが、いただいたご意見は、市政全般に関するご意見と受け止め、関係部署と情報共有させていただきます。